

内分泌・代謝内科学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Horie I, Haraguchi A, Sako A, Akeshima J, Niri T, Shigeno R, Ito A, Nozaki A, Natsuda S, Akazawa S, Mori Y, Ando T, Kawakami A, Abiru N. Predictive factors of efficacy of combination therapy with basal insulin and liraglutide in type 2 diabetes when switched from longstanding basal-bolus insulin: Association between the responses of beta- and alpha-cells to GLP-1 stimulation and the glycaemic control at 6months after switching therapy. *Diabetes Res Clin Pract.* 144:161-170. 2018 (IF: 2.548)
2. Ikeoka T, Sako A, Kuriya G, Yamashita H, Yasuhi I, Horie I, Ando T, Abiru N, Kawakami A. Type 1 Diabetes Mellitus Diagnosed during Follow-up of Gestational Diabetes Mellitus in the Early Postpartum Period. *Intern Med.* 57(23): 3413-3418. 2018 (IF: 1.785)
3. Sasamura A, Akazawa S, Haraguchi A, Horie I, Ando T, Abiru N, Takei H, Nittono H, Une M, Kurosawa T, Murai T, Naruse H, Nakayama T, Kotani K, Remaley AT, Kawakami A. Late-onsetCerebrotendinous Xanthomatosis with a Novel Mutation in the CYP27A1 Gene. *Intern Med.* 57(11): 1645-1649. 2018 (IF: 1.785)
4. Nakao T, Nishikawa M, Hisakado M, Kasahara T, Kudo T, Nishihara E, Ito M, Fukata S, Nakamura H, Hirokawa M, Miyauchi A. Characteristics and natural course of hypoechoic thyroid lesions diagnosed as possible thyroid lymphomas by fine needle aspiration cytology. *Thyroid Res.* 11:8. 2018 (IF: 0.63)
5. Ando T, Hatada K, Sata M, Tachiki H, Fukazawa T, Kusumoto S, Horie I, Abiru N, Matsumoto S, Kawakami A. Glucagon-like peptide-1 receptor agonists as an effective therapeutic agent for diabetes mellitus and obesity in patients with schizophrenia under treatment with second-generation antipsychotics. *Acta medica Nagasakiensia.* 61(4): 151-157. 2018 (IF: -)
6. Ito A, Nozaki A, Horie I, Ando T, Kawakami A. Relation between change in treatment for central diabetes insipidus and body weight loss. *Minerva Endocrinol.* 2018 (IF: 1.26)
7. Horie I, Abiru N, Eto M, Sako A, Akeshima J, Nakao T, Nakashima Y, Niri T, Ito A, Nozaki A, Haraguchi A, Akazawa S, Mori Y, Ando T, Kawakami A. Sex differences in insulin and glucagon responses for glucose homeostasis in young healthy Japanese adults. *J Diabetes Investig.* 2018 (IF: 3.147)
8. Ito A, Kamata A, Nozaki A, Ando T, Kawakami A. Hypothyroidism could be a potential factor to prolong subcutaneous nodules of exenatide once weekly: a case report. *AACE clinical case reports.* 2018 (IF: -)
9. Nakajima H, Motomura M, Morikawa M, Ando T, Kawakami A, Tsujino A. Usefulness of MR Imaging in Idiopathic Oculomotor Nerve Palsy Cases: T2-weighted IDEAL. *Magn Reson Med Sci.* 2018 (IF: 1.455)
10. Watanobe T, Koga T, Umeda M, Ichinose K, Ashizawa K, Ando T, Kawakami A. A case of familial Mediterranean fever triggered by acute adrenal insufficiency due to an abrupt withdrawal of corticosteroids. *Mod Rheumatol Case Reports.* 221-224. 2018 (IF: -)
11. Horie I, Abiru N, Hongo R, Nakamura T, Ito A, Haraguchi A, Natsuda S, Sagara I, Ando T, Kawakami A. Increased sugar intake as a form of compensatory hyperphagia in patients with type 2 diabetes under dapagliflozin treatment. *Diabetes Res Clin Pract.* 135: 178-184. 2018 (IF: 2.458)

B 邦文

B-a

1. 本郷 涼子, 高島 美和, 花田 浩和, 世羅 至子, 武藤 慶子. 病院の食事提供業務におけるインシデントレポートの分析. *日本給食経営管理学会誌.* 12(1):15-24. 2018

B-b

1. 鎌田 昭江, 二里 哲朗, 堀江 一郎, 阿比留教生. 【免疫チェックポイント療法】免疫チェックポイント阻害と1型糖尿病. *臨床免疫・アレルギー科.* 69(6):563-568. 2018
2. 伊藤文子, 堀江一郎, 阿比留教生. 【自己免疫の関与する内分泌代謝疾患の最前線】 インスリン受容体異常症 B 型. *最新医学.* 73(5):676-680. 2018
3. 本郷涼子, 堀江一郎, 金高賢悟, 安井佳世, 古谷順也, 廣佐古裕子, 高島美和, 花田浩和, 富永玲子, 野崎彩, 二里哲朗, 中村剛, 伊藤文子, 原口愛, 相良郁子, 赤澤諭, 森良孝, 安藤隆雄, 世羅至子, 中道聖子, 江口晋, 川上純, 阿比留教生. 2 型糖尿病合併高度肥満症に対する腹腔鏡下スリーブ状胃切除手術前後の栄養素摂取量および食嗜好の変化. *糖尿病.*
4. 徳永あゆみ, 今川彰久, 西尾 博, 早田 敏, 下村伊一郎, 阿比留教生, 栗田卓也, 池上博司, 内潟安子, 及川洋一, 大澤春彦, 梶尾 裕, 川崎英二, 川畑由美子, 小澤純二, 島田 朗, 高橋和真, 田中昌一郎, 中條大輔, 福井智康, 三浦順之助, 安田和基, 安田尚史, 小林哲郎, 花房俊昭. 劇症 1 型糖尿病の発症早期における膵臓 MRI 所見に関する調査報告. *糖尿病.* 61(12):840-849. 2018

5. 堀江一郎, 安藤隆雄, 今泉美彩. 放射線性甲状腺炎. 日本臨牀 別冊「内分泌症候群 (第3版)」. 2018
6. 安藤隆雄. シェーグレン症候群と甲状腺. シェーグレン症候群の診断と治療マニュアル改訂第3版. 2018
7. 安藤隆雄. I-その他の内分泌疾患を含めて-II. 甲状腺 1. 甲状腺機能亢進症(24)甲状腺機能亢進症に伴う重症筋無力症. 日本臨牀 別冊「内分泌症候群 (第3版)」. 2018

B-c

1. 阿比留教生. 1型糖尿病. 今日の治療指針 2019 わたしはこう治療している. 722-724. 2018
2. 安藤隆雄. ①無痛性甲状腺炎②橋本脳症③高尿酸血症④慢性結節性痛風⑤多腺性自己免疫症候群. 今日の疾患辞典. 2018
3. 高島美和, 世羅至子. 病棟管理栄養士のための臨床検査ファーストガイド Part3 疾患別 検査値の意味と読み方のポイント 脂質異常症. 臨床栄養. 133(4):502-505. 2018

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	3	1	1	30

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
阿比留教生 ・准教授	学術評議員・九州支部幹事・小児糖尿病委員会委員	日本糖尿病学会
阿比留教生 ・准教授	学術評議員	日本糖尿病肥満動物学会
阿比留教生 ・准教授	学術評議員	日本臨床免疫学会
阿比留教生 ・准教授	世話人 あり方委員会委員	1型糖尿病研究会
阿比留教生 ・准教授	委員	日本学術振興科学研究費専門委員会
阿比留教生 ・准教授	会長	長崎地域糖尿病療養指導士認定委員会
阿比留教生 ・准教授	幹事	長崎県糖尿病対策推進会議
阿比留教生 ・准教授	委員	長崎県糖尿病検討委員会
阿比留教生 ・准教授	委員	長崎県糖尿病性腎症重症化予防事業推進会議
阿比留教生 ・准教授	委員	健康ながさき 21 推進会議小委員
阿比留教生 ・准教授	委員	長崎市ストップ CKD ネットワーク会議
阿比留教生 ・准教授	会長	日本糖尿病協会長崎分会つるの会
阿比留教生 ・准教授	指導医・運営委員	長崎県小児糖尿病ことのうみ
阿比留教生 ・准教授	小児慢性特定疾患指定医	長崎市

宇佐俊郎・准教授	長崎県原子力災害医療ネットワーク検討会委員	長崎県
宇佐俊郎・准教授	長崎県原子力災害医療ネットワーク検討会作業部会主査	長崎県
宇佐俊郎・准教授	佐賀地区原子力災害医療ネットワーク検討会委員	佐賀県
宇佐俊郎・准教授	長崎大学医師会理事 長崎大学医師会	長崎大学医師会
宇佐俊郎・准教授	在外被爆者支援事業関係医療調整会議構成員	長崎県
宇佐俊郎・准教授	評議員	日本内分泌学会
宇佐俊郎・准教授	社会保険診療報酬支払基金審査委員	長崎県
宇佐俊郎・准教授	福島県甲状腺検査支援合同委員会委員	福島県
古林正和・准教授	役員	日本糖尿病協会長崎分会つるの会
安藤隆雄・講師	評議員、九州支部幹事、九州支部評議員、九州支部災害対策委員	日本内分泌学会
安藤隆雄・講師	評議員	日本甲状腺学会
安藤隆雄・講師	長崎県指定難病審査会委員	長崎県指定難病審査会
堀江一郎・助教	評議員	日本内分泌学会
原口 愛・助教	九州支部評議員	日本内分泌学会
世羅至子・講師	副会長	日本糖尿病協会長崎分会つるの会
世羅至子・講師	委員	長崎県糖尿病検討委員会
世羅至子・講師	世話人	長崎糖尿病地域医療研究会
相良郁子・助教	評議員	日本内分泌学会九州地方会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
阿比留教生 ・准教授	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	分担	診療録直結型糖尿病データベース構築に向けた病院への情報システム導入と、システムを用いた情報収集の管理業務
阿比留教生 ・准教授	国立研究開発法人国立国際医療研究センター	分担	J-DREAMS コホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究
阿比留教生 ・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) “バイオニア転写因子”IRF4 を標的にした 1 型糖尿病の治療探索
古林正和・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) デュアルスキャンを用いた大学生における内臓脂肪量の変化に関する研究
古林正和・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) ”バイオニア転写因子”IRF4を標的にした1型糖尿病の治療探索（代表：阿比留教生）
安藤隆雄・講師	MDS	代表	遺伝性尿崩症における WFS1 遺伝子変異
相良郁子・助教	日本学術振興会	代表	若手研究 メンタルヘルス不調予防を目指した効果的な運動継続プログラムの探索
相良郁子・助教	明治安田厚生事業団	代表	運動を習慣化する動機付け方法の探索 ～2015年12月義務化ストレスチェックから見えるストレス状況と運動習慣～

阿比留教生 ・准教授	小野薬品工業株式会社、 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 (分担)	免疫チェックポイント阻害薬ニボルマブが誘発する1型糖尿病、間質性肺疾患の発症に関連する原因遺伝子多型・変異の探索的研究
---------------	---	---

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
阿比留教生 ・准教授	なぜ抗 PD-1 抗体は 1 型糖尿病を誘発するのか。	Medical Tribune	2018/2/15	PD-1 抗体が 1 型糖尿病を誘発しやすい機序について解説し社会へ発信した。
阿比留教生 ・准教授	肥満を伴った糖尿病の新しい治療薬	テレビ長崎健康マガジン	2018/6/15	SGLT2 阻害薬と GLP1 受容体作動薬について解説した。
阿比留教生 ・准教授	各病院の特色を尊重しつつ互いの強みは共有し、地域全体の糖尿病診療レベルアップをめざす。	Medical Network	2018/8/1	医師や医療スタッフによる情報交換の場を設けることや、各病院同士の違いを知ることで糖尿病診療の向上につながることで、情報共有での地域連携診療のあり方を発信した。
阿比留教生 ・准教授	日本人に 5 人の糖尿病	長崎放送 N スタ	2018/11/8	糖尿病の原因と最新の治療法・運動療法・食事について話した。
阿比留教生 ・准教授	糖尿病の現状と世界糖尿病デー	テレビ長崎健康マガジン	2018/11/9	現在の糖尿病の治療技術の進歩と、世界糖尿病デーへの参加を呼び掛けた。
阿比留教生 ・准教授	人生 100 年時代の健康術	長崎放送 N スタ 長崎国際テレビ	2018/11/14	「糖尿病と診断されても治療を続けていくことの大切さ」を話した。
阿比留教生 ・准教授	糖尿病、前向きに治療を。長崎県の予備軍 15 万人。	長崎新聞	2018/11/15	11 月 14 日の「世界糖尿病デー」に、長崎駅前かもめ特設広場にて糖尿病の啓発活動イベントを開催し、「糖尿病でも前向きに治療することの大切さ」を話した。
安藤隆雄・講師	副甲状腺機能亢進症	テレビ長崎健康マガジン	2018/2/23	副甲状腺機能亢進症に関する診断、治療方針について最新の情報を紹介した。
鎌田昭江・助教	肥満と肥満症の違い	テレビ長崎健康マガジン	2018/6/1	肥満に伴う合併症や内臓脂肪蓄積の有無による肥満の違いについて解説した。
鎌田昭江・助教	ダイエット大特集！ 痩せるカギは〇〇！	テレビ長崎ヨジマル	2018/11/13	正しく減量するための食事療法として、食物繊維・咀嚼と小腸・脳の重要性を解説した。
鎌田昭江・助教	お腹がすかない糖尿病予防の食事療法	テレビ長崎健康マガジン	2018/11/16	早食いで空腹感を感じやすく、ゆっくり食べるとお腹がすきにくいことを話した。
鎌田昭江・助教	メタボリックドミノ	長崎放送健康アップル	2019/1/24 2019/1/31	メタボリックドミノの解説をし、またメタボリックシンドロームの予防策を紹介した。
堀江一郎・助教	甲状腺結節	テレビ長崎健康マガジン	2018/2/2	甲状腺腫瘍に関する診断、治療方針について最新の情報を紹介した。
堀江一郎・助教	肥満症の治療法	テレビ長崎健康マガジン	2018/6/8	高度肥満症に対する外科療法を含めた最新の治療法の紹介を行った

○特筆すべき事項

- ①糖尿病啓発公開講座「スマイルライフ」を年2回開催し講演や指導を行った
- ②長崎県小児糖尿病療育サマーキャンプを毎年1回開催し患児との交流を深めている